

詳細 2 :

エクステリア：プレミアムの再解釈

新型 Audi Q9 は、圧倒的なエクステリアデザインにより、力強い存在感を放ちます。フロントエンドには、ブランドを象徴するシングルフレームとヘッドライトをシームレスなブラックマスクとして一体化し、自信と風格を感じさせる堂々とした存在感を際立たせています。グリルはフロントバンパー下部まで達し、デザインに垂直方向の力強さを与えると同時に、ラインナップの頂点に位置する Audi Q9 の存在感を強調しています。これに対し、バンパーは控えめに仕上げられ、クリーンで統一感のある面構成を形成しています。垂直方向を強調したフロントエンドは、アウディ最大の SUV にふさわしい風格と品格を演出しています。オプションの LED 技術を採用したイルミネーテッドシングルフレームを選択することで、夜間における印象的な外観をさらに際立たせることができます。Audi Q9 は直線的で水平なベルトラインを備え、このモデルの伸びやかなシルエットを強調しています。さらに、アウディを象徴する力強いショルダーラインが調和し、Audi Q9 ならではの圧倒的な存在感を強固なものにしています。ロングホイールベースに加え、大型化されたリヤドアと延長されたリヤオーバーハングは、特にキャビンの後方で強調されており、Audi Q9 の広々とした室内空間を視覚的に表現しています。

リヤは、ライセンスプレートをバンパー内に配置することで、落ち着きと洗練された印象を強調するとともに、すっきりと見せます。市販モデルとして世界初採用となる曲面デジタル OLED リヤライトは、夜間において特徴的なライトシグネチャーを生み出し、路面での視認性と安全性の向上に寄与すると同時に、車両の洗練されたクリーンなデザインを一層引き立てます。加えて、発光するフォーリングスを組み込んだシームレスな LED ライトストリップが、左右のリヤライトを繋いでいます。

3 列シートと大容量のラゲッジルームを備えた広々とした室内空間は、垂直のリヤエンドと伸びやかなオーバーハングに最もよく表れています。また、車両のサイドにおける特徴的なデザイン要素として、乗員が車両に近づくと足元に光のカーペットが広がるグラウンドプロジェクションを採用しています。ドアの脇に投影されるグラフィックには、Audi Sport を象徴する菱形のモチーフが取り入れられており、印象的な演出によって乗員を迎え入れます。

豊富なエクステリアオプション

Audi Q9 は advanced と S line のグレードが設定され、それぞれ異なるデザイン要素によって区別されます。標準仕様である advanced line は、エレガンスと広々とした空間を際立たせるため、控えめなディテールとクリーンな面を重視したデザインが特徴です。advanced line では、縦型のバーがシングルフレームを彩ります。対照的に S line は、バーのないオープンなデザインを特徴とする力強いシングルフレームに、強調されたロワーフロントエンドと存在感のあるリヤスポイラーを組み合わせることで、よりスポーティなルックスを提示します。

Audi Q9 は、多様なデザインと仕上げを揃えた 20 インチから 23 インチのアルミホイールを選択可能です。22 インチおよび 23 インチのタイヤには、タイヤノイズを低減するアコースティックフォームインサートが標準装備されています。さらに、パルプステムおよびホイールウェイトは、それぞれのリムデザインに合わせてカラーを統一しています。

世界初の曲面デジタル OLED パネルを採用した第 3 世代デジタル OLED リヤライト

Audi Q9 では、リヤライトに第 3 世代のデジタル OLED パネルを装備し、ライティングテクノロジーにおける新たな基準を打ち立てています。世界初となる曲面デジタル OLED パネルは、ボディラインにこれまで以上にシームレスに溶け込み、視認性、安全性、そしてデザインをかつてないほどに融合させています。

デジタル OLED パネルの曲面形状は、安全性向上の重要な要素です。ガラス基板の厚さはわずか 0.1mm です。超薄型ガラス技術により、パネルはボディラインに沿って精密に配置されています。これにより、特に車両側面からの視認性が大幅に向上し、さらに高い安全性を実現しています。

曲面デジタル OLED リヤライトは、高いコントラストと均一な光分布を実現します。曲面アウター OLED パネルは、アウディ史上最大サイズで、99 のセグメントで構成されています。センターパネルは 84 のセグメント、インナーパネルは 73 のセグメントを備えています。6 枚の大型デジタル OLED パネル全体

では合計 512 のセグメントが分散配置されており、夜間には車両をよりワイドで存在感のある印象に見せます。

リヤライトは、デジタルライトシグネチャーを従来のように静的な点灯パターンやアクティブな点灯パターンとして表示するにとどまらず、デジタル OLED パネルの一部のみ点灯させる新しいライトシグネチャーを今回初めて採用しました。これにより、夜間において特徴的なライティングデザインを創出します。

カーブでの視認性を向上させるアドバンスト ターンシグナル

Audi Q9 のライティング技術のもう一つのハイライトが、アドバンストターンシグナルです。この機能は、デジタル OLED リヤライトおよびデジタルマトリクス LED ヘッドライトとの組み合わせにより利用可能です。夜間の右左折時や車線変更時には、フロントおよびリヤのダイナミックターンシグナルと連動して、デザイン化したウィンカー表示を路面に投影します。これによって周囲の道路利用者からの視認性が向上し、安全性を大幅に高めます。

安全性を高めるコミュニケーションライト

新型 Audi Q9 に搭載されたコミュニケーションライトは、前方で発生した事故や車両故障に関する情報を周囲の道路利用者に警告します。デジタル OLED リヤライトに、三角警告表示の警告シンボルを組み込んだ専用のリヤライトシグネチャーを表示します。さらに、このモデルにはコネクテッドエグジットワーニングを備え、停車中に乗員がドアを開ける際、後方から接近する自転車や他の車両に対して専用のライトシグネチャーによって警告を表示し、衝突の可能性を知らせます。

乗員を迎えるドアプロジェクションライト

新たなプロジェクションライトは、ドアシルに配置された LED モジュールにより、運転席および助手席ドアの下にソリッドなホワイトの菱形を、リヤドアの下には破線の菱形を投影します。ドアを開けるとこの菱形の光が広がり、乗員を迎え入れてくれるとともに車両へ向かう足元を明るく照らします。乗員が Audi Q9 から降りる際に自転車や車両が接近すると、エグジットワーニングと連動し、ドア横の路面に菱形を投影します。

インテリジェントに連携するライティング機能とドライバーアシストシステム

Audi Q9 は、最適な前方視認性を確保するため、新たなマイクロ LED モジュールを採用したデジタルマトリクス LED ヘッドライトを装備しています。この組み合わせにより、ハイビームにおいて優れた照射性能と高解像度の配光を実現します。

もうひとつの機能であるプロジェクテッドレーンチェンジアシストワーニングは、Audi Q9 のドライバーが車線変更を開始した際、死角内に別の車両がいる場合に作動します。また、オリエンテーションライトは、高速道路や郊外の道路でドライバーが意図せず車線を越えた場合に、メーターパネルに表示される従来の警告と同様に、車線逸脱警告を表示します。郊外の道路で路面凍結の恐れがある場合、高度な交通情報システムが、氷の結晶シンボルを路面に一時的に投影して警告します。

ヘッドライトとドライバーアシスタンスの高度な連動は、その他の走行シーンにおいても発揮されます。例えば、マイクロ LED モジュールを採用したデジタルマトリクス LED ヘッドライトは、工事区間における注意を促します。レーンライトをオフにし、オリエンテーションライトを優先して表示する、自動的なライトガイダンスによって、車線維持をサポートします。さらに、デジタルマトリクス LED ヘッドライトには、歩行者を認識しやすくするマーキングライトも搭載されています。夜間には、道路付近の歩行者を直接照らし出すことで、その存在をわかりやすくします。